

平成17年度LPガス保安関係予算内示額について

平成16年12月
原子力安全・保安院

I. 総額

【16年度予算額】	→	【17年度内示額】
11.9億円		10.2億円
		[対前年度 1.7億円 減]
		[対前年度 14.3% 減]

II. 主な内容

1. 石油ガス供給事業安全管理技術開発等委託費
《10.1億円 → 8.7億円》
 - (1) 安全管理対策のための調査研究 (2.8億円 → 3.0億円)
 - ①安全機器の保安機能維持のための共通基盤技術の調査研究【継続】
(1.1億円 → 1.5億円)
最新のガス消費実態に適したマイコンメータの保安機能の維持・向上のため、消費事例をもとに行う消費パターンデータの収集・解析調査
 - ②調整器の経年劣化等異常検知技術の調査【新規】 (1.5億円)
調整器の経年劣化等による異常を簡易に検知できる技術の調査研究及び集中監視システムとの接続が可能な調整器の技術開発
 - (2) 石油ガス技術指導事業【継続】 (2.1億円 → 2.4億円)
 - (3) 石油ガス技術普及事業【継続】 (3.1億円 → 3.3億円)
2. バルク供給システム技術基準性能規定化のための調査研究委託費【継続】
《1.5億円 → 1.5億円》
LPガスの流通合理化をもたらすバルク供給システムに係る技術基準を国際基準整合性、新技術の導入等を踏まえた性能規定とするための調査研究